

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 網走川中央地区

1. 事業の概要(案)

《事業の目的》

本地区は、畑地かんがい施設が未整備なため、畑作は降雨に依存した営農を余儀なくされており、保水性の乏しい土壌条件に農耕期の小雨傾向と相まって作物の収量、品質が低下し、営農上の大きな支障となっている。一方、水田では米の生産調整により水稻作付けが減少している。

このため、既得の水田水利権を再編し、新規の畑地かんがい用水を確保するとともに用水施設の整備を行い、農業用水の安定供給、農業生産性の向上を図り、農業経営の安定に資するものである。

《受益面積》 2,289ha(水田1,082ha、畑1,207ha)

《主要工事計画(案)》 西幹線頭首工(改修)
用水路(新設及び改修)

2. 環境に対する考え方

(美幌町農村環境計画、大空町田園環境整備マスタープランより引用)

《農村環境の現状と課題》

【現状】

- 美幌町は、大空町に接する三角州性の低地から、美幌峠や藻琴山周辺が含まれる区域まで多様な環境に恵まれている。(美幌町)
- 中央部の丘陵地帯を中心として、町内全域にわたり豊かで美しい田園風景が広がっている(大空町)

【課題】

- 美幌町の有する良好な農村環境を保全、創出し、次世代へ引き継ぐことが重要な課題。(美幌町)
- 町内全域に広がる豊かな田園風景の保全あるいは創出を図っていくなど、人と自然の関係を見直し、自然と共生していく視点が求められている。(大空町)

《環境保全の基本的考え方》

北海道の関連上位計画並びに美幌町農村環境計画、大空町田園環境整備マスタープランにおける基本的考えに基づき実施する。

「自然と共生する緑豊かな農村交流空間の創造」

「自然と共生する緑豊かな農村交流空間の創造」を掲げ、今後の農業農村整備、まちづくり、人づくり施策の実現を目指す。(美幌町)

「豊かな田園環境の保全」

人と自然の共生を目指して、大空町の豊かな田園環境を保全していく取り組みを推進していく。(大空町)

3. 環境配慮計画

《基本方針》

本地区においては、地域の自然環境とその環境に生息、生育する動植物を踏まえ、美幌町農村環境計画及び大空町の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、動植物の生息・生育環境の保全を図るほか、河川景観及び農村景観との調和に配慮した整備を進める。

《取り組み内容》

【生態系への配慮】

・既存林に生息する動植物の生息環境への影響及び緑地環境ネットワーク(動物の移動経路)の寸断を抑制するため、新設用水路(管水路)の配置は、既存林の伐採を極力回避する。

・工事実施前は、鳥類の営巣の確認を行う。営巣が確認された場合は、工事施工時の施工機械の騒音による営巣への影響が懸念されるため、繁殖への影響が低い時期を施工時期として設定し、低騒音型の施工機械を使用する。

・頭首工及び用水路の施工において、網走川には、良好な水質環境を必要とする希少な生物が生息していることから、濁水流出防止に努める。

【景観への配慮】

・河川景観との調和への配慮として、機械類の塗装色において、周辺景観の色彩との調和を配慮した色相、明度、彩度を検討し、光沢を抑えた落ち着いた色彩を採用する。